

## ☆著 書☆

- ◇助教授 加藤正夫 日本熔接協会原子力委員会編「原子力工業講座」430ページ、熔接ニュース出版局(1958. 4)のうちの第3章「アイソトープの工業への応用」
- ◇助教授 安藤良夫 同上 第17章「原子炉用軽金属の溶接」

## ☆講 演☆

- ◇教授 永井芳男, 中央大学助教授 安倍義人「ピレンの利用に関する研究(第9報)ピレンのモノスルホン化について」日本化学会第11年会講演会 (1958. 4)
- ◇教授 永井芳男, 大学院学生 植松卓史「カルバゾール-3, 6-ジカルボン酸の合成」同上(同上)
- ◇教授 永井芳男, 大学院学生 剣持寛人「アミノアントラキノン類のシアノエチル化」同上(同上)
- ◇教授 永井芳男, 技術研究生 城 健市「ノーヒドラジノアントラキノンの合成」同上(同上)
- ◇助教授 千々岩健児「鑄型の通気性に関する検討」日本鑄物協会第54回講演大会 (1958. 5. 8)
- ◇助教授 田宮 真「遊動水の動的影響について」造船協会春季講演会 (1958. 5. 10)
- ◇助教授 安藤良夫, 助手 藤村理人, 研究生 飛田正蔵「溶接した工業用純チタンと実用耐食合金の耐食性の比較」溶接学会春季学術講演会 東京都立工業奨励館において (1958. 5. 16)

## ☆生研所員海外渡航状況☆

- ◇第1部 久保田広教授は、32年2月17日より米国ロチェスター大学光学研究所へフルブライト交換教授として滞在し、偏光顕微鏡の回折像の研究を行っていたが、去る4月2日帰国。

## ☆兼重教授、会長に就任☆

兼重寛九郎教授は、4月16日、上野で開かれた第26回日本学術会議総会で、茅会長の会長辞任による後任会長の選挙で第3代会長に選ばれ、これに就任した。

## 井口 名誉教授の逝去

東京大学名誉教授、明治大学大学院教授井口常雄氏は4月10日、明治大学会議室にて会議中、脳出血のため卒倒され、安静加療中のところ、4月16日、午前4時15分同所で逝去された。故井口名誉教授は、昭和20年4月、第2代東京大学第二工学部長となり、その後生産技術研究所に転換の前後、創設の大事に献身し、昭和24年3月定年退官され、本学の工学教育に甚大の功績を残された。

## ☆寄 稿☆

- ◇助教授 三木五三郎「ロードスタビライザの現状と将来」建設の機械化 97, p. 21~24 (1958. 3)
- ◇技官 小瀬輝次, 臨時筆生 鈴木恒子「格子常数が連続的に変るチャートによるレスポンス函数の測定誤差」応用物理 27巻3号 p. 168~175
- ◇技官 小瀬輝次, 「光学系の結像と回路理論」電子工

## 筆 者 紹 介

- ◇谷 安正 前所長
- ◇森脇義雄 教授 工博 専攻 電気回路学
- ◇河村達雄 大学院学生 専攻 同上
- ◇安達芳夫 助教授 専攻 電子工学
- ◇後川昭雄 助手 専攻 トランジスタ工学
- ◇富永五郎 助教授 専攻 物理機器学
- ◇西川精一 技官 専攻 非鉄金属材料学
- ◇藤高周平 教授 工博 専攻 電力工学
- ◇野村民也 助教授 専攻 電気制御学
- ◇田代文之助 技官 専攻 同上
- ◇山本尚志 技術員 専攻 同上

## 編 集 委 員

編集委員長 渡辺 要  
編集委員 \*小瀬輝次  
渡辺 勝  
小川正義

## 編 集 委 員

田宮 真  
鈴木 弘  
\*黒川兼行  
安達芳夫  
金森九郎

## 編 集 委 員

永井芳男 専門委員 星野昌一  
松下幸雄 編集幹事 下村潤二郎  
関野 克 編集室 水野晴明  
久保慶三郎

\*印当番委員

第10巻 第5号

生 産 研 究

(本誌は生産技術研究所の研究報  
介誌として、毎月1回発行する)

1958年5月1日 発行

印刷者

三美印刷株式会社

東京都千代田区神田多町2の7

発行所

東京大学生産技術研究所

千葉県市原市1

電話千葉(2) 0261(代表)

頒価 60 円

編集者  
発行者

渡 辺 要  
福 田 武 雄